

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいがづくりの支援
 (1) 高齢者の社会参加の促進と地域活動の支援

掲載ページ	66	事務事業名	まなび人材事業		担当課	文化生涯学習課
事業の概要	様々な分野で学習活動をしている方及びしようとしている方を、生涯学習における身近な支援者として登録していただき、学びたいと思っている方の生涯学習活動の支援をする。					
事業の目的	地域人材の活用を通じた社会参画機会の提供及び地域活動の支援					
評価の指標	まなびの市民講師登録数					
27年度	目標値	82	評点	C	評価	市民講師の登録者数は昨年度よりも減っているが、年度内の新規登録数は8件、依頼事業は192事業と例年と比較しても多く、市民講師の周知が出来てきている。
	実績	61			今後の取組	現在登録しているまなびの市民講師の活動回数の増加及びまなびの市民講師登録者数の増加を図る。

掲載ページ	67	事務事業名	高齢者が活躍する事業		担当課	公民館(5館)
事業の概要	地域の高齢者が公民館の事業において指導者として活躍するなど、高齢者が活躍する事業の開催。子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがいを作る。					
事業の目的	高齢者が公民館事業において指導者として活躍することで、子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがい創出へとつなげていく。					
評価の指標	高齢者の指導する事業数					
27年度	目標値	8	評点	S	評価	高齢者が公民館事業において指導者として活躍したことで、子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがい創出へとつなげることができました。
	実績	小和田2 鶴嶺2 松林2 南湖2 香川2			今後の取組	今後も引き続き、高齢者が公民館事業において指導者として活躍することで、子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがい創出へとつなげていきます。

掲載ページ	67	事務事業名	セカンドライフのプラットフォーム		担当課	企画経営課
事業の概要	定年退職や子育てが終わり、茅ヶ崎で活動の場を探す高齢者に対して、今後の人生を地域で豊かに過ごすことをデザインするセミナー(セカンドライフセミナー)の実施や地域で様々な活動(就労やボランティアなど)を行いたい高齢者に対してマッチングを行う生涯現役応援窓口を開設する。					
事業の目的	高齢者のQOL(人生の内容の質や社会的に見た生活の質)の向上を図るため活動の場のマッチングを行い、高齢者が支えられる側から支える側へと転換する。					
27年度	評価	セカンドライフセミナーは合計40人が受講し、受講者の満足度は高く、参加費用の設定に対しても妥当との意見が大半であった。また、生涯現役応援窓口は、6か月間で延べ244人が利用し、その活動希望先の約7割が就労であった。就労先の開拓も同時に行っており、結果として17名の就労が実現した。それぞれの取組が初年度であったが、これまでにない超高齢社会に対応した取り組みをスタートすることができた。				
	今後の取組	セカンドライフセミナー受講者や生涯現役応援窓口における相談者へきめ細やかなフォローアップを行い、活動の場への支援を行う。また、それぞれの取り組みについて周知が課題となっており、広報紙やホームページでのPRだけでなく、関係機関、民間事業者、地域での活動団体などと連携しながら本事業を推進する。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				

掲載ページ	67	事務事業名	長寿社会のまちづくりイメージワークショップ	担当課	企画経営課
事業の概要	モデル地区において、ワークショップを通して、それぞれの地域における超高齢社会のイメージや諸課題の共有を行い、地域で活動する主体間のつながりの構築や課題解決のための活動・担い手を創出する。				
事業の目的	長寿社会のイメージを共有し、ニーズを捉えた地域活動の創出と既存の活動の磨き上げに向けた気づきを創出する。				
27年度	評価	ワークショップの実施について、松林地区は、まちぢから協議会の事業として取り組むこととなったが、他事業と実施時期が重複したことから28年度以降に実施することで協議を進めている。			
	今後の取組	地域でワークショップを運営するノウハウを有する団体や研究機関等と協議を行い、実施プログラムを確定させる。また、地域と実施に向けた協議を継続的に行う。			
	進捗状況	③予定より遅れている			

掲載ページ	67	事務事業名	自治会及びまちぢから協議会等地域活動への参画促進支援	担当課	市民自治推進課
事業の概要	高齢者がこれまで培ってきた知識や経験、技術を活かして地域の担い手として活躍していただけるよう、自治会及びまちぢから協議会等が進める地域活動への参画促進の取り組みを支援する。				
事業の目的	自治会活動支援業務及び地域コミュニティ事業については、財政的支援や人的支援等とおして、さらなる組織力の強化、団体活動の円滑な運営に寄与するとともに、地域課題に横断的に対応できる仕組みづくりを支援すること。				
27年度	評価	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に対して各種補助金の交付等により、支援を行った。 市内12地区のうち、10地区で地区まちぢから協議会が設立され、地域における話し合いの場づくりが進められ、地域住民の参加を促進するための部会等の取り組みの支援を行った。 			
	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治の推進に重要な役割を果たす自治会活動が円滑に運営されるよう、自治会運営補助金や自治会館の賃借料及び修繕費補助等の財政的支援を引き続き行うとともに、協力体制の強化を図る。 地区まちぢから協議会の活動をおして、地域における顔の見える関係づくりや情報共有を進めるとともに、地域課題の解決が図られるよう、会議の進行補助、事業実施時の支援等、地域担当職員を中心とした支援を行う。 			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	市民自治推進課
事業の概要	身近に心の拠り所となる場所があることにより孤立を防ぐことができる。高齢者や障害者はもとより様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりが求められていることから、地域が主体的に取り組む居場所づくりを支援する。				
事業の目的	コミュニティセンター管理運営業務については、地域活動の拠点となるコミュニティセンターを指定管理者と連携し管理運営することで、地域の皆さまの相互の連帯感と自治意識の高揚を図り、活動がより充実し、より円滑に行われるよう取り組む。				
27年度	評価	市内11箇所のコミュニティセンターが地域住民のコミュニティ活動がより活発に行われる場として利用されるよう、指定管理者と連携して円滑な管理運営を行った。			
	今後の取組	市内11箇所のコミュニティセンターが幅広い世代の地域住民のコミュニティ活動がより活発に行われる場として利用されるよう、利用者のニーズを踏まえ、引き続き指定管理者と連携し、施設の使用承認、設備の維持管理、地域住民の交流事業等を通じ、円滑な管理運営を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	保健福祉課
事業の概要	身近に心の拠り所となる場所があることにより、孤立を防ぐことができる。高齢者や障害者はもとより、様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりが求められており、地域が主体的に取り組む、居場所づくりを支援する。				
事業の目的	地域での孤立の防止				
27年度	評価	身近に住民同士が集える居場所づくりへの取り組みとして、地区社会福祉協議会が中心となって新たに5か所のサロンが立ち上げられた。			
	今後の取組	引き続き、身近な居場所づくりへの取り組みとして新たなサロンの立ち上げを、茅ヶ崎市社会福祉協議会と協力し、支援していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	高齢者や障害者など様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりがもためられているため、地域が主体的に取り組む居場所づくりを支援する				
事業の目的	地域が主体的に取り組む居場所づくりの支援。				
27年度	評価	地域からの居場所づくりの相談に2件対応した。また、地域の立ち上げ会議に出席し、他市の事例紹介や国の補助制度等を紹介した。今後も引き続き、地域からの相談に随時応じることで、様々な主体が運営する居場所において高齢者を見守る体制づくりを目指していく。			
	今後の取組	高齢者のニーズを把握し、高齢者の抱える課題等について地域に情報提供するとともに、顔の見える関係づくりを促進するため、地域が主体的に取り組む居場所づくりの相談に随時応じ、他市の事例紹介や国の補助制度等を紹介するなど、支援に努めていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	子育て支援課
事業の概要	高齢者や障害者はもとより様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりを行う。				
事業の目的	身近に心の拠り所となる場所があることにより、孤立を防ぐことができる。				
27年度	評価	孤立しがちな子育て中の母親等が、高齢者も活動している地域の子育てサークルや子育てサロンを利用することで、子育ての助言や経験等を聞くことができ、安心して子育てできるきっかけとなっており、また、高齢者にとっても、活躍できる場が増えることにより、活気ある生活につながっている。			
	今後の取組	引き続き地域に密着した子育て支援をおこなえるよう子育てサークルや子育てサロンの周知の支援をするとともに、関係機関との連携を図りながら、孤立しがちな母親たちの支援を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			